

株式会社松屋 様

食品衛生管理アプリで、売場の状況確認・指示対応を迅速化

アプリを活用した業務改善の輪を広げ、HACCP管理対応への足がかりを築く

株式会社松屋は、創業150年を超える老舗百貨店。暮らしにおけるさまざまな課題や要望に対し、優れたデザインで応える「デザインの松屋」として顧客ロイヤルティの向上に磨きをかけている。

同社ではデジタル化による効率化・生産性向上、業務改善に取り組んでおり、その一環としてPlatioを導入。食品表示シール※の記載ミス削減や確認業務を効率化するために、食品表示チェックアプリの作成に着手した。

課題・目的	選定ポイント	効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 食品表示シールの記載ミス発生の削減と、確認対応の工数を削減したい ■ 売場に赴かなくても記載内容の確認や修正指示を行いたい ■ 紙での履歴管理をやめ、データとしていつでも閲覧・分析したい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他のツールに比べて汎用性があり、アプリの作成が簡単 ■ 自社用にカスタマイズでき、運用開始後の微調整も容易に行える ■ IDの追加も比較的安価で、ユーザー数の増減に柔軟に対応できる ■ なによりも操作がシンプルでわかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売場と衛生管理者間のやりとりがリモート化され、プッシュ通知により管理業務が迅速化 ■ 現場へ赴く負担や現場の対応待ちの工数を毎月5時間ほど削減 ■ 約30名の関係者が手軽に情報を閲覧、分析や知識定着が進みミスが減少 ■ 新しい生活様式への対応である、非接触での業務対応が推進された

※食品表示法に則り、消費期限やアレルギー等の情報が記載されたシール

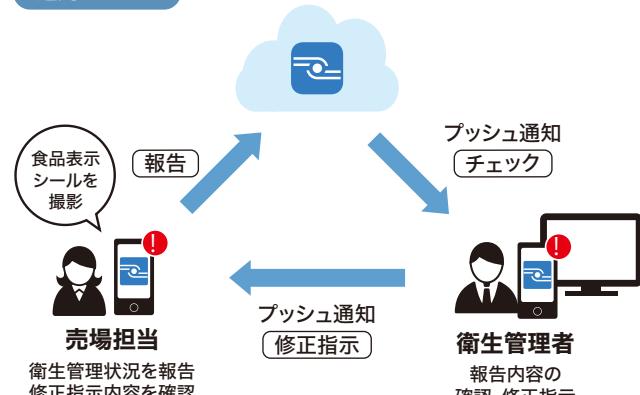


報告画面



プッシュ通知画面

運用イメージ



ユーザーのひと言



Platioを導入したことでのリモート且つ非接触で衛生管理情報を確認できるようになり、どこにいてもスムーズに開店前のチェックを進められるようになりました。また、今回の食品衛生管理アプリの活用は、2021年6月に完全義務化されるHACCPに沿った衛生管理をデジタル化するためのモデルケースになりました。今後はHACCP対応管理用のアプリを作成し、他の社内業務に関してもPlatioを活用した業務改善の輪を広げていきたいと思います。

株式会社松屋

営業一部付 課長補佐 食品品質管理・衛生担当 深澤 泰樹 氏(左)

経営企画部システム課デジタル戦略チーム 長部 良佑 氏(右)

User Profile

MATSUYA

所在地： 東京都中央区銀座3丁目6番1号

会社概要： 銀座・浅草で店舗を展開する老舗百貨店。それぞれの立地特性を活かした営業活動を行う。銀座店は個性的な百貨店としてさらなる進化を目指す。また、飲食業・ビル総合サービス及び広告業など百貨店事業を中核に据えたグループ経営を推進。

従業員数： 599人(2020年8月時点)

導入時期： 2020年4月

URL： <https://www.matsuya.com/ginza/>